

年 組 名前：

25年版アニメ聖地に124カ所

人気アニメのゆかりの地を観光資源として生かし、集客や地域活性化を目指す「アニメツーリズム協会」（東京）は13日、国内外のアニメファンの投票を参考に選んだ「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」2025年版の発表会を

北杜と山梨、身延 県内舞台2作品も

オンラインで開いた。88作品の舞台となった市町村など124カ所を聖地とした。山梨県内からは『ゆるキャン△』シリーズで山梨市と身延町、「スーパークラブ」で北杜市が選出された。

25年版で新しく選ばれたのは15作品。「好きでも嫌いなあまのじゃく」（山形県米沢市）、「映画『トラペジウム』（千葉県館山市）、「ふれる。」（東京都・高田馬場）、「夜のクラゲは泳げない」（東京都渋谷区）、「ガールズバンドクライ」（川崎市）など。

124カ所とは別に、「青山剛昌ふるさと館」（鳥取県北栄町）など26施設と2イベントも聖地とした。総投票数は約10万5千票で、海外からが49%を占めた。

同協会会長でアニメーション監督の河森正治さんは「新しい作品が生み出され続けていること自体も素晴らしいし、（アニメを通じて）いろいろな場所や新しい発見が増えるのではないか」とコメントした。

(2025年2月14日付 山梨日日新聞 22面)

問1 アニメツーリズム協会は、なにを目的とした団体ですか。

.....

問2 「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」25年版で選出された山梨県内の作品名と

その市町村名を、2つ答えてください。

・作品名：..... ➔ 市町村名：.....

・作品名：..... ➔ 市町村名：.....

問3 選ばれた市町村は、どのようなことがプラスになると思いますか。自由に答えてください。

.....